

ID LETTER



Merry Christmas

親愛なる株主のみなさまへ

第49期第2四半期 決算のご報告 2016.4.1～2016.9.30

ID INFORMATION DEVELOPMENT

売上高

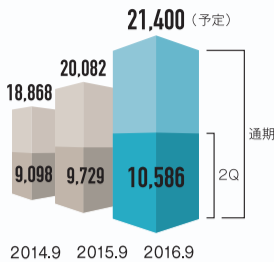
2016年3月期第2四半期
97億29百万円

2017年3月期第2四半期

105億86百万円

2Qベースでも
売上高は
増加傾向

■売上高 (百万円)



営業利益

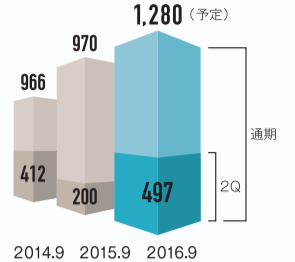
2016年3月期第2四半期
2億円

2017年3月期第2四半期

4億97百万円

前期の本社移転
および
不採算案件の収束

■営業利益 (百万円)



IDグループの力を結集し、 創造的変革に 挑戦します!!!

代表取締役社長

船越真樹

2017年3月期 第2四半期は?

事業環境に改善傾向が見られるなか、IDグループは人材育成を最優先課題としながら、業務効率化、既存顧客へのグループ横断的な営業展開を積極的に推進しました。その結果、主要セグメントであるシステム運営管理、ソフトウェア開発が売上、利益ともに上昇しました。2017年3月期第2四半期は、売上高105億86百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益4億97百万円(同147.8%増)となりました。

2017年3月期の見通しは?

4月の発表から修正はなく、2017年3月期通期は、売上高214億円(同6.6%増)、営業利益12億80百万円(同31.9%増)を計画しています。第2四半期までの累計は好調であり、達成できると考えています。

3カ年計画 「I-vision 50」について

IDグループは、「徹底した構造改革」、「新たな成長分野の構築」、「連結経営の強化」を「I-vision 50」の基本方針とし、2019年3月期に売上高240億円、営業利益率7.0%の達成を目指し、競争力の強化に努めています。重点戦略として、①ダイバーシティの推進、②BOO戦略の推進、③クラウドサービスの推進、④グローバル推進、⑤グループ経営の効率化と業務プロセスの改善を軸に取り組んでいます。



従業員1人当たり売上高

2016年3月期第2四半期

476万4千円

2017年3月期第2四半期

505万1千円

稼ぐ力が向上

売上高営業利益率

2016年3月期第2四半期

2.1%

2017年3月期第2四半期

4.7%

収益性アップ

今後の施策は?

今後、IoTの普及でインターネットと接続するモノが増加し、セキュリティリスクの増大が想定されるなか、IDグループはIDアメリカが中心となり、AIを活用したセキュリティ強化を図っています。また、既存サービスの競争力強化、生産性および品質向上のため、ウェアラブル端末による業務支援コンテンツの社内外での実証等、新技術の取り込みを積極的に進めており、社員のパワーアップ、およびIDグループの総合力の結集を実現し、企業価値向上に邁進します。

株式分割を 発表されたようですが

当社株式の取引価格を引き下げることで、投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整えるため、今回の分割によって発行済株式総数は1,204万株となり、流動性の向上が期待できます。1株を1.5株に分割することといたしました。

配当についての考え方は?

株主の皆さまに対する安定した利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しています。2017年3月期については、前期末より2円増配し、1株当たり37円の年間配当を予定しています。IDグループは、これからも企業価値の向上に努め、株主の皆さまのご期待にお応えしてまいります。

会社情報

商号 株式会社インフォメーション・ディベロプメント(略称:ID) INFORMATION DEVELOPMENT CO.,LTD.
本社所在地 〒102-0076 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館 TEL.03-3264-3571(代表) FAX.03-3264-3618
創立 1969年(昭和44年)10月20日
資本金 5億9,234万円
社員数 2,096名(連結、2016年9月30日現在)

役員

代表取締役社長	船越 真樹	常勤監査役	田村 公一	執行役員	加藤 剛
代表取締役副社長	山川 利雄	監査役	岡崎 正憲 (公認会計士)	執行役員	上拾石 直樹
取締役兼専務執行役員	小池 昭彦	監査役	増田 裕明	執行役員	木村 由美子
取締役兼常務執行役員	七尾 静也	監査役	日向 研 (みずほトラストオペレーションズ株式会社取締役社長)	執行役員	松浦 繁則
取締役	杉浦 章介 (慶應義塾大学名誉教授)	常務執行役員	山内 佳代	執行役員	坂本 康
取締役	林 慶治郎	常務執行役員	南 耕治	執行役員	岩下 和俊
		常務執行役員	土谷 明	執行役員	黒崎 祐三
				執行役員	高橋 かおり
				執行役員	園田 健一

※ 取締役 杉浦章介、林慶治郎は社外取締役です。 ※ 監査役 岡崎正憲、増田裕明、日向研は、社外監査役です。

※ 2016年6月24日現在

「ビッグデータ」を どう採り・読み解き、どう活かすか？

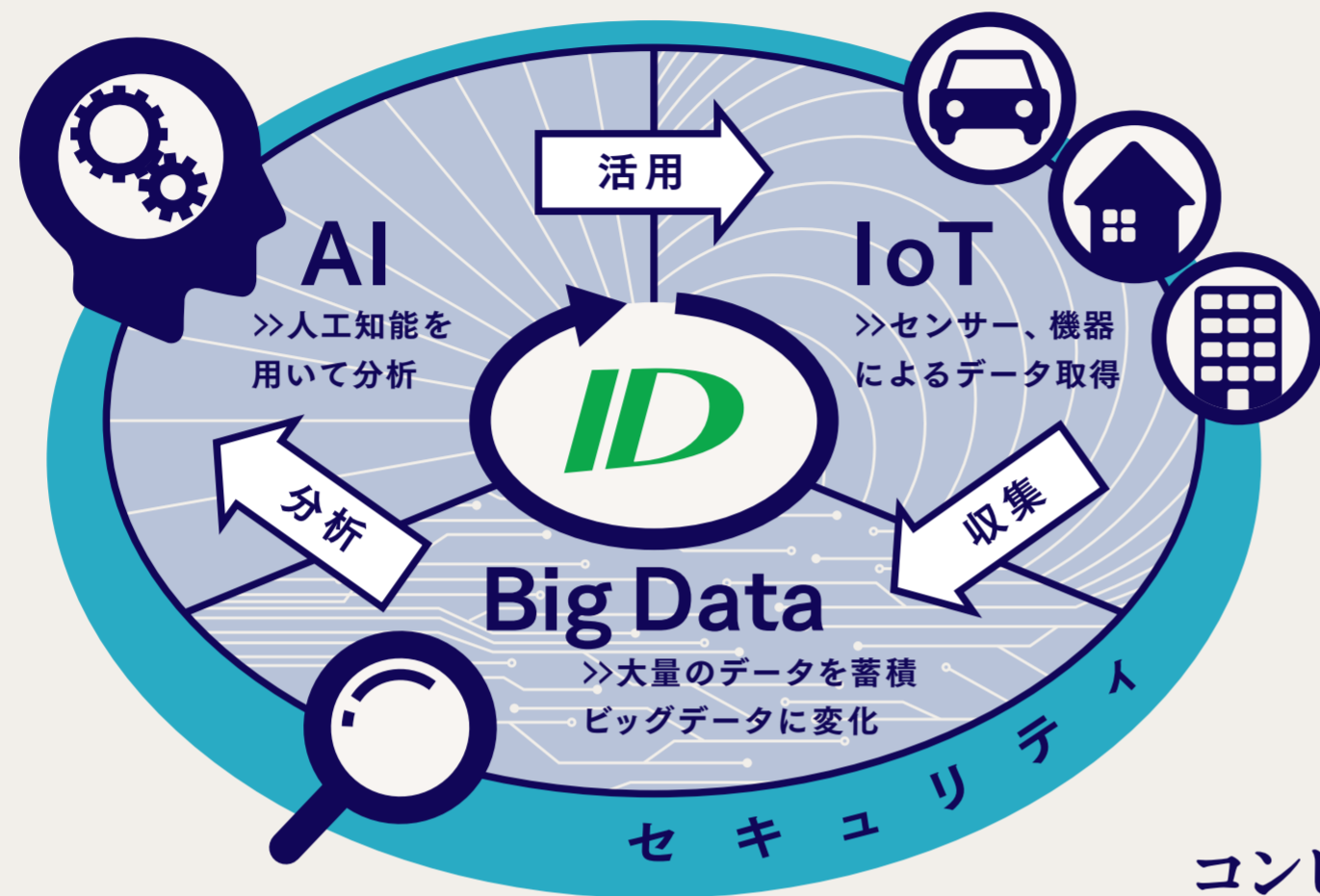
世界IoT市場規模は2020年に210兆円
世界最先端IT国家創造宣言
IoTは2020年GDPを約33兆円押し上げる

「第4次産業革命」へ向けたIDグループの取り組み

パソコンやスマートフォンはもちろん、家電、自動車などあらゆるモノがインターネットに繋がっていく今日。そこから集められた膨大な情報＝ビッグデータを、安全かつ有意義に活用しようという動き——経済産業省の提唱する「第4次産業革命」が進行中です。

世界のデータ量は2年ごとに倍増、それを上回る勢いでハードウェアの処理性能は向上しています。加えて、AI技術の劇的進化。こうした大量のデータを採集・分析・活用できるようになってきました。

そして、私たちIDグループも、来たる明日への課題解決に向け、数々のプロジェクトを加速させています。



ドローンで救急救命

iD-Cloud ソリューション部 CSIチームリーダー
セキュリティディレクター エバンジェリスト 宮本朋範

救急車の到着が1分遅れると、生存率は10%下がるといわれます。状況を少しでも改善したい、その思いで「遠隔救急救命プロジェクト」が始動。IoT技術により、ドローンを利用した薬剤・器具の急送や、現場状況のモニタリングを実現します。2020年の導入を目指して注力しています。

また救命後も、患者さんが着るだけで心拍数・心電波形などを常時計測できる特殊なウェアを用い、再発を予防。こうした新たなチャレンジを、リアルグローブ社など多彩な企業とのコラボで進めています。



安全・安心
まもり隊△

即時処理&瞬時行動

iD-Cloud ソリューション部 ビジネスディベロップメントチーム
エンジニア ローゲル・フレデリクソン

「渋谷でマツコ発見!」もしあなたがGPS(位置)情報をツイートしたら、瞬間に人だかりができるでしょう。

スマートデバイスの普及によって、あらゆる場所に情報源が存在するようになります。この状況を、私たちはビジネスに援用します。OA機器、家電、水道、ガス、あらゆる機器の故障に最寄りのサービスマンを自動で派遣する、タクシーの配車を自動化・最適化する、あるいは2020年の東京に乗り捨てOKなレンタルバイク網をつくる…人工知能(AI)が、ビッグデータを即時処理することで、米国Flow社はそれを実現します。

悪意なき “加害者”も急増

iD-Cloud ソリューション部
次長兼ソリューション営業 グループリーダー iD-SIRT 吉田香織

人とモノ、すべてがインターネットで繋がる近未来。だからこそ、セキュリティは命綱です。

とはいえ中小企業や自治体の中には、セキュリティ対策が不十分なIT環境を放置しているケースも少なくありません。

が、悪意ある第三者は、そこを狙います。脆弱なところから侵入してくるのです。そしてサプライチェーンの「輪」の誰かがウイルス感染したら、関連会社もろとも一網打尽——そんな悪企みの連鎖、私たちは絶対に許シマセンツ!

元気な仲間
ウェルカム!!



私たちにしかできないソリューションを

執行役員 iD-Cloud ソリューション 部長 黒崎祐三

ここでご紹介したのは一部ですが、IDグループは「情報を採集し、読み解き、活用する」その全フェーズに関与します。これまでの事業活動で培ってきたノウハウを活かし、さらにリアルグローブ社、米国Flow社など多くの企業へ資本を投下。人と技術の交流を進めながら、IoTからビッグデータ処理・解析まで、私たちにしかできないソリューション、課題解決を目指してまいります。

多くの有能な社員が参集し、高い目標に向かって邁進しており、大変ですがやりがいのある仕事です。日本には脈々と受け継がれてきた職人技のような技術が数多くあります。個人的には、そのようにしてノウハウを次代に繋げていきたいと願っています。

コンピュータを着る!?

システム・インテグレーション・サービス第2事業本部
SIS-2第1部 エバンジェリスト 渡辺 暁

「スマートグラス」って、ご存じですか? 目の前に様々な仮想/現実情報を映し出すことができる、いわばポケモンGOのメガネ版。

たとえば電気や配管工事で、図面を映写しながら作業したり、画面共有しながら本部に相談したり、あるいは工事履歴を動画や3Dで残したりと大活躍。さらに作業データは「知の資産」として引き継がれ、次回、別の人が工事しても困りません。



ゲームの技術を
実用化!!!

各国のサイバー犯罪を
現在進行形でウォッチ👁️

人命・暮らしファースト

iD-Cloud ソリューション部 グループマネージャー iD-SIRT 櫻木康喜

次の東京五輪で、厄介なのはハクティビスト(政治・思想的サイバー犯)の存在。

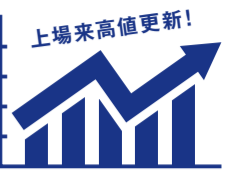
彼らは売名のために政府機関以外にも交通・金融といったインフラを狙ってくる。ひょっとすると原発や航空機、クルマの自動運転システムも標的に!?

ならば私たちの使命は、そうしたハクティビストから人命と暮らしを守ること。

しかも、ただ「守る」だけでなく、AIを使った検出技術の活用など「次世代のディフェンス」を、鋭意、計画中です。



株式分割および配当予想の修正



株式分割について
~多くの投資家の方に株式を購入いただくために~

IDグループの株式については、流通量が少ないことなどから、「買おうと思ってもなかなか手が出しづらい」との声があり、一人でも多くの投資家の方に株式を購入いただくため、株式の分割を行うことにいたしました。分割により投資単位当たりの金額が引き下がることで、これまで以上に多くの投資家の方に購入いただけるようになり、株式売買の出来高の増加も期待できます。

株式の分割については、2016年12月31日時点で保有されている株式について、2017年1月1日より1株につき1.5株に分割いたします。

株式分割の日程(予定)	基準日公告日	2016年12月15日(木)
	基準日	2016年12月31日(土)
	効力発生日	2017年1月1日(日)

配当予想の修正について
~株主の皆さまへの安定的な利益還元に向けて~

2017年3月期の期末配当については、これまでは1株当たり35円00銭を予定しておりましたが、業績予想の修正により37円00銭とさせていただきます。1株を1.5株に分割するため、37円00銭×1.5株で計算すると55円50銭となり、35円00銭に比べ実質的には20円50銭の増配となります。

トップメッセージにもあるように、株主の皆さまへの安定した利益還元は当社グループの重要課題の一つであり、これからも企業価値の向上、株主の皆さまへの継続的な利益の還元を進めてまいります。

ID武漢がCMMIレベル3の認定を取得



2016年9月、ID武漢はCMMIレベル3の資格認定を受けました。CMMIとは米国カーネギーメロン大学ソフトウェア工学研究所が開発した、組織のソフトウェア開発プロセス能力の成熟度を5段階で評価するものです。2015年には全世界で過去最高の1,922件(中国895件)が認定されており、国際標準指標として認知されています。

近年、中国のIT関連支出は増加し続けており、2016年には日本のIT市場規模を超える見込みです。ID武漢もこれまではオ

プシヨア開発が業務の中心でしたが、今後は中国の巨大市場にも積極的に挑戦していきます。資格認定によって高まった信用力を活かし、2018年度には中国国内向け売上高比率50%超を目指します。

優良企業認定マーク「えるぼし」を取得



当社は2016年8月、女性活躍推進法第9条に基づき、厚生労働大臣が認定するマーク「えるぼし」を取得しました。

このマークは、女性活躍推進に関する取り組み状況の優良な企業に対し、厚生労働大臣から与えられるものです。なかでも当社は①採用、②継続就業、③労働時間、④管理職比率、⑤多様なキャリアコース、の5つの

基準をすべて満たしていることより、もっとも高い評価である「認定段階3」の認定を受けました。

今後も、当社は多様な人材の活躍推進を重要な経営戦略の一つと位置づけ、「女性が働く環境整備」に努めていきます。

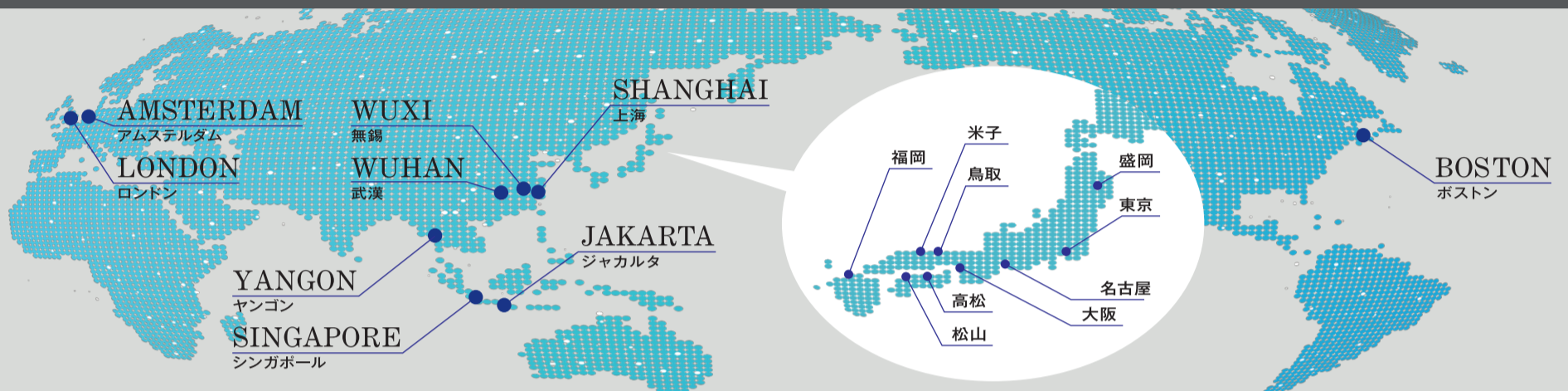
「健康経営」進めています!



「健康経営」とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。従業員への健康投資は、仕事に対する意欲を高め、生産性の向上などの組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価上昇につながると期待されます。

IDでは「健康経営」の取り組みを本格的に進めています。2016年4月から、当社では勤務時間中の禁煙をスタートしました。ま

た、「健康企業宣言」の取り組みや、時間外勤務の削減、業務プロセスの改善などに力を入れています。



国内・海外
ネットワーク
(2016年9月30日現在)

連結子会社

- 株式会社プライド
資本金：4,000万円 ID出資比率：85.9%
※出資比率は自己株式を控除して計算しております。
- 株式会社テラコーポレーション
資本金：2,500万円 ID出資比率：100%

● 艾迪系統開発(武漢)有限公司
(略称：ID武漢)

資本金：110万米ドル ID出資比率：100%

● INFORMATION DEVELOPMENT SINGAPORE PTE.LTD.
(略称：IDシンガポール)

資本金：386万シンガポールドル ID出資比率：100%

● INFORMATION DEVELOPMENT AMERICA INC.
(略称：IDアメリカ)

資本金：550万米ドル ID出資比率：100%

● PT. INFORMATION DEVELOPMENT INDONESIA
(略称：IDインドネシア)

資本金：83.4万米ドル IDシンガポール出資比率：51% ID出資比率：49%

● INFINITY INFORMATION DEVELOPMENT CO.,LTD.
(略称：iID)

資本金：40万米ドル IDシンガポール出資比率：51% ID出資比率：49%

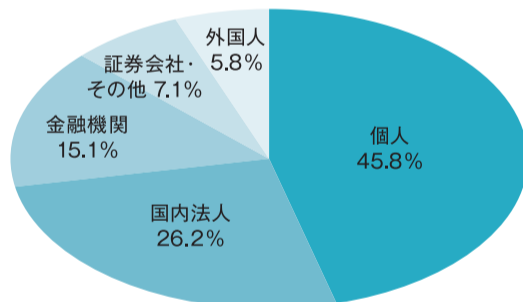
● 愛ファクトリー株式会社(特例子会社)

資本金：5,000万円 ID出資比率：100%

■ 株式情報

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式総数	8,029,535株
株主総数	3,200名

■ 株式数別構成



※株式情報および株主状況は、
2016年9月30日現在の情報に基づいています。

■ 大株主の状況

株主名	持株比率(%)
株式会社エイ・ケイ	10.33
株式会社みずほトラストシステムズ	8.50
ID従業員持株会	6.25
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	3.95
みずほ信託銀行株式会社	3.51
MSCO CUSTOMER SECURITIES	2.79
TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社	2.36
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE NORTHERN TRUST GUERNSEY NON TREATY CLIENTS	1.75
船越朱美	1.64
丸林香織	1.49

※上記のほか当社保有の自己株式455千株(5.68%)があります。

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当を行うときの中間配当金	9月30日
公告の方法	当社ホームページ上の電子公告により行います。 http://www.idnet.co.jp ただし、やむを得ない事由により電子公告に よることができない場合は、日本経済新聞に 掲載いたします。	
株主名簿管理人 同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
郵送物送付 および お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)	
単元株式数	100株	
証券コード	4709(東京証券取引所 市場第一部)	

株式会社 インフォメーション・ディベロップメント

〒102-0076 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館 TEL.03-3264-3571(代表)

IRお問い合わせ先：社長室 TEL.03-3262-5177 >>> <http://www.idnet.co.jp>



※当社ホームページへの
アクセスができます。